

# より簡単なシステムを目指して 農薬チェックから販促まで対応

日本GAP協会推奨

農場物語

イーサポートリンク株式会社

イーサポートリンク株式会社の「農場物語」は、生産履歴情報の入力で農薬の誤使用を未然に防ぐだけでなく、販売促進の道具としても活用できるシステム。高齢者やパソコンに不慣れなユーザーに優しい設計で、自分で入力する場合も操作が簡単。パソコンを持っていなくても、入力代行で利用できる。同社営業担当の逸見幸俊氏にお話を伺った。

播種から出荷されるまでの栽培データを「物語」として綴っていくのがコンセプト。あらかじめ作った栽培計画に従って、農薬・肥料・資材などの項目別実績をパソコン画面から入力します。これまで紙に記録していた農業日誌がデータベース化され、昔の栽培記録を検索で探し出すことも可能です。

入力の際、農薬取締法に則ったチェックを自動的にします。計画や防除実績に対

して正しく農薬が使用されていない場合は、エラーのメッセージが表示されます。農薬データは頻りに更新されるので、個人でフォローすることは難しくミスが招きがちでした。「農場物語」はwebサイト上のシステムで、農薬データは随時更新されるため、利用者はアクセスするだけで誤使用を未然に防ぐことができ、不明なエラーについて連絡があれば当社でも調査します。利用料は年間7,000円で、いくら利用しても定額です。また、このシステムは、日本GAP協会の推奨システムとなっています。



「より見やすく、より使いやすく」をコンセプトに、シンプルに作られた入力画面。入力代行サービスも用意されている。

## 販促ツールとしても利用可能

またQRコード付きシールやPOPなど、販売促進ツールを発行して、流通、小売、小消費向けに履歴を公開することも可能です。これまでもQRコードで、生産者の名前と顔が分かる商品はありませんでしたが、「農場物語」は栽培履歴はもちろん、生産者の情報や栽培のこだわりを公開できます

適切な栽培方法で作っていることを証明できれば、小売としても積極的に店頭に並べたいから、直取引するチャンスは増えるでしょう。「農場物語」は農産物を、個人ブ



農産物の栽培履歴だけでなく、生産者の情報や栽培のこだわりをQRコードによって公開。安全性を数値で証明することができる。

ランドとして売り込むのに最適なツールであり、実際、直売所などで地場野菜を売るのに活用している農家も多い。生産者、小売業、消費者の3者を繋ぐことができるシステムです。

システムとはいえ導入は簡単。パソコンに不慣れな方、高齢者の方でも簡単に使えるように設計されています。パソコンは苦手という場合は、入力代行のサポートも行っています。農場日誌やメモをFAX・郵送してもらえれば、当社で入力代行して、印刷したデータを送り返す仕組みです。

またパソコンだけではなく、iPhoneのようなフルブラウザ対応の携帯電話でも入力できるシステムとなっています。農業は最終的には人と人との結びつきだと考えているので、皆さんが身近に感じられるような、より簡単なシステムを目指していきます。